

高分子物質を主成分とした膠着性の配管用シーリング剤です。
各種配管のネジ込み部およびフランジ等に使用し、ガス・水・油などの漏洩防止をする
ものです。

状 態	灰色粘稠液状
粘 度 (25°C)	2500 cPs
不揮発分	76%
比 重 (25°C)	1.29
乾燥後の状態	速乾性膠着型

- ① 白ベン、赤ベンとは根本的に異ったもので、肉盛性がよく、麻糸等の併用を必要としないため作業時間が短縮され能率的です。
- ② 作業時、ネジ部またはフランジ部に刷毛で塗って締付けるだけでよい。
- ③ 膠着したものが可撓性を有しているので振動、衝撃に強い。
- ④ 防蝕性が優れているので接合部の泥水、汚水などによる腐食を完全に防止することが出来ます。
- ⑤ 化学的に安定な為、変質、劣化せず長期間の使用に耐えます。
- ⑥ 水、海水、都市ガス、プロパンガス、ガソリン、油、各種薬品に対してすぐれた耐性をもっています。
- ⑦ 塗面にしっかりくっつくので水圧などによって スリーボンド 4002 の端片が水中にでるようなことはありません。
- ⑧ 広範囲の温度 (-30°C - 130°C) に耐えます。

都市ガス配管、プロパン配管、熱湯配管、海水配管、ガソリン配管、油配管
その他各種薬品配管のねじ部およびフランジ面

① 耐圧試験

鑄鉄製 2 1/2 インチの水道用パイプのねじ部に試料を塗布して組付け、直ちに規定の圧力を一定に加え、時間経過に伴うもれを測定し 2 時間経過してももれない場合を「もれなし」とする。

温度	室 温		1 0 0 °C		
	加 圧	10kg/cm ²	20kg/cm ²	10kg/cm ²	20kg/cm ²
もれの有無	もれなし	もれなし	もれなし	もれなし	もれなし



② 浸漬試験

(イ) 耐水性

試料の調製

試料を重さのわかっている試験板のくぼみにいっぱいに入らないように静かに満たし、室温に 24 時間放置後 100°C ± 5 deg に 3 時間乾燥する。乾燥後取り出しデシケーターに入れ室温まで放冷し重さをはかる。

試験方法

上記試料を棚の上段に 2 個、下段に 2 個水平に並べ 90~95°C の水、約 500ml に 24 時間浸漬する。

浸漬後試料を取り出し、JIS K 8891 (メチルアルコール) で約 30 秒間軽く振り洗いをしてから 65°C ± 5 deg で、24 時間乾燥し、デシケーターに入れて室温まで放冷し重さをはかり、式により重量変化率 W (%) を求め耐水性とする。

$$W = \frac{W_2 - W_1}{W_1 - W_2} \times 100$$

こゝに W₁ : 浸漬前の試験板と試料の重さ (g)

W₂ : 試験板の重さ (g)

W₃ : 浸漬後の試験板と試料の重さ (g)

(ロ) 耐油性

(イ) 項に準じ調製した試料を 95~100°C の JIS K 6301 (加硫ゴム物理試験方法) の No. 2 油約 500ml に 24 時間浸漬する。

浸漬後試料をとり出し、JIS K 8593 (石油エーテル) で約 30 秒間軽く振り洗いをしてから 65°C ± 5 deg で 24 時間乾燥し、デシケーターに入れて室温まで放冷し重さをはかり、②(イ) 式により重量変化率 W (%) を求め耐油性とする。

(ハ) 耐ガソリン性

(イ) 項に準じ調製した試料を 45~50°C の JIS K 2202 (自動車ガソリン 1 号) 約 500ml に 24 時間浸漬する。

浸漬後試料をとり出し、65°C ± 5 deg で 24 時間乾燥しデシケーターに入れて室温まで放冷し重さをはかり、②(イ) 式により重量変化率 (%) を求め耐ガソリン性とする。

項 目	試験結果
耐水性 (%)	-1.4
耐油性 (%)	-1.9
耐ガソリン性 (%)	-1.8

灰色
2.5 (25)
1.29
76
ロジン誘導体樹脂
乾性固着
なし
9.3 (95)
7.8 (80)
6.9 (70)
3.9 (40)
もれなし
もれなし
もれなし
-1.4
-1.8
-1.9
-30~130
135
余り良くない
TB2803
15
200 以上
4-1
2 種
メタノール
15~25
200